

訂正再発行

NEWS RELEASE

【報道関係各位】



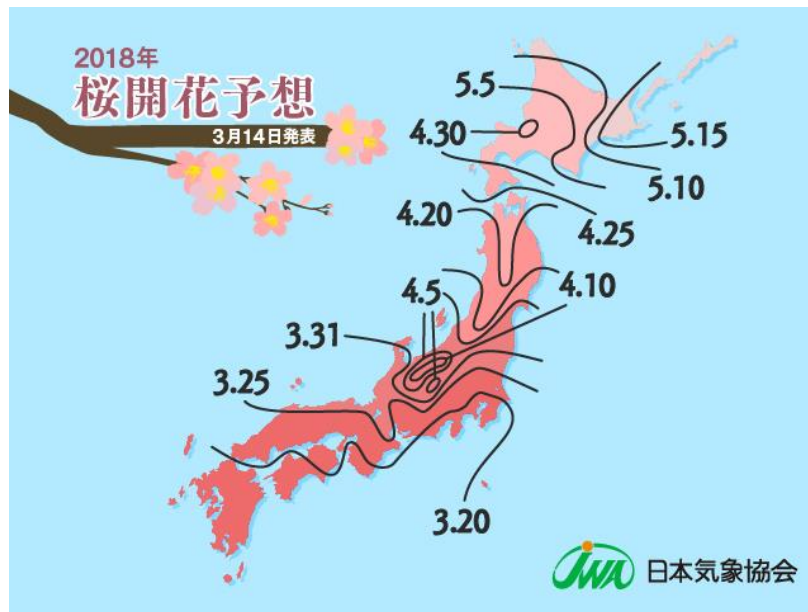
2018年3月14日
一般財団法人 日本気象協会

2018年桜開花予想(第4回) ～まもなく高知からサクサク！ 東京は20日、大阪は21日に開花～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、日本全国92地点の桜（標本木 [ソメイヨシノほか] 53地点、自治体・公園など36地点、および日本三大桜3地点）の開花予想日（第4回）を2018年3月14日（水）に発表します。

- ◆開花のトップは、高知で3月16日！
- ◆満開が最も早いのも、高知で3月22日！
- ◆九州から関東では開花・満開とも平年より1週間ほど早い！ お花見の準備はお早めに！

■2018年桜開花予想前線図



■開花と満開の傾向

2018年の桜の予想開花日は、九州から東北の広い範囲で前回予想（3月7日発表）より1日～5日早まり、北海道では前回予想とほぼ同じ見込みです。平年と比べると、九州から東北で3日～7日早まる所が多く、北海道では3日ほど早いでしょう。

桜前線は3月16日に高知からスタートし、17日に熊本と高知県宿毛、18日には宮崎、和歌山で開花するでしょう。東京と横浜は20日、大阪では21日に開花の便りが届く見込みです。九州から関東と北陸の一部では、3月末までに開花し、4月上旬には北陸や長野県、東北南部で開花するでしょう。4月中旬以降は東北北部で開花し、4月末には桜前線が津軽海峡を越え、北海道の函館や札幌などで開花する見込みです。

この冬（12月～2月）は、気温が西日本を中心に全国的に平年より低く経過しましたが、3月は一転し、気温が平年を上回る日が多くなっています。この先4月上旬にかけても気温は全国的に平年より高い予想で、特に25日頃までは九州から東海で気温が平年よりかなり高くなる見込みです。このため、前回予想と比べ、九州、四国、中国、近畿、北陸で4日前後、東海、関東、東北で2日ほど早まりました。

満開日は、開花のおよそ1週間後となり、予想満開日が最も早いのは高知で3月22日でしょう。九州から関東では、3月末までに満開となる所が多く平年より1週間前後早い見込みです。北陸、長野、東北南部は4月上旬、東北北部は4月下旬、北海道でも5月中旬までに満開になるところが多いでしょう。



■日本気象協会 長期予報（気温）

気温	4月上旬まで	4月中・下旬	5月	～桜開花予想チームのコメント～
北日本	高い	平年並みか高い	平年並みか高い	3月中旬から4月上旬にかけて全国的に気温が平年より高い見込みです。4月中・下旬は西・東日本で平年並みでしょう。北日本では4月中旬から5月にかけて平年並みか高い予想。
東日本	高い	平年並み	---	
西日本	高い	平年並み	---	





※休眠打破：前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

■2018年 桜の予想開花日・満開日（主な地点）

	地点	予想開花日	平年開花日	昨年開花日 (2017年)	予想満開日	平年満開日	昨年満開日 (2017年)
福岡県	福岡市	3月19日	3月23日	3月25日	3月27日	4月1日	4月5日
香川県	高松市	3月22日	3月28日	4月2日	3月28日	4月5日	4月8日
広島県	広島市	3月22日	3月27日	3月27日	3月30日	4月4日	4月7日
大阪府	大阪市	3月21日	3月28日	3月30日	3月29日	4月5日	4月6日
愛知県	名古屋市	3月21日	3月26日	3月28日	3月31日	4月3日	4月6日
東京都	千代田区	3月20日	3月26日	3月21日	3月27日	4月3日	4月2日
長野県	長野市	4月5日	4月13日	4月14日	4月11日	4月17日	4月17日
富山県	富山市	3月29日	4月5日	4月5日	4月2日	4月10日	4月8日
新潟県	新潟市	4月5日	4月9日	4月8日	4月9日	4月14日	4月13日
宮城県	仙台市	4月5日	4月11日	4月7日	4月12日	4月16日	4月13日
北海道	札幌市	4月30日	5月3日	4月28日	5月4日	5月7日	5月3日

全92地点の桜（標本木〔ソメイヨシノほか〕53地点、自治体・公園など36地点、日本三大桜3地点）の予想開花日・予想満開日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp（てんきじえーびー）』桜の開花予想ページ（<https://tenki.jp/sakura/expectation/>）にて公開しています。

■各地の気象予報士コメント

	日本気象協会 九州支社（松井 渉） 九州は暖かい日が続いており、この先もかなり気温が高い日が多いと予想されます。このため、桜の開花が早まり、今週末から来週初めには各地で桜が開花する見込みです。そして、3月最後の週となる再来週から4月初めには見頃となりそうです。お花見の計画はお早めに。
	日本気象協会 四国支店（川越 絵里子） 春本番の陽気に誘われて、四国地方の桜は今後、一気にほころんできそうです。そのため、前回予想と比べ、開花、満開ともに数日早い予想となったところが多くなりました。早いところでは今週末に開花となり、来週には見ごろを迎えるところもありそうです。
	日本気象協会 中国支店（筒井 幸雄） 各地で春本番を思わせるような陽気が続き、桜の花芽は日に日に膨らみ始めています。これから来月はじめにかけても暖かい日が多いため、生育は一段と早まる見込みです。今月の下旬には山陽から次第に開花するでしょう。
	日本気象協会 関西支社（真田 知世） 近畿地方の桜のつぼみは、ここ数日の暖かさで見事な追い上げをみせ、前回よりも予想開花日が早まりました。この先も気温は高めに推移する見込みです。このままラストスパートをかけて、来週は各地で開花ラッシュとなる見込みです。

	<p>日本気象協会 中部支社 (菅野 彰太)</p> <p>季節を先取りした陽気の日が続き、東海地方の桜の花芽も、順調に生長しています。先がピンク色のつぼみがあるところも出てきました。この先1週間も、気温は平年より高く経過し、静岡を皮切りに早くも開花の便りが届き始めそうです。</p>
	<p>日本気象協会 本社 (秋田 純佳)</p> <p>先週、関東地方では数日間隔で風雨が強まり、日々の気温差が大きくなりました。しかし、今週は春の歩みが一気に早まり、暖かい日が続きます。予報開花、満開日とも前回より早まり、平年より1週間ほど早い見込みです。3月最終週には関東地方の平野部で見ごろを迎えるところが多いでしょう。</p>
	<p>日本気象協会 長野支店 (瀧中 弘樹)</p> <p>日の光に敏感な花は、すでに咲き始めているものもあるようですが、気温に忠実な桜は、少しのんびり屋さん。それでも、今週の春の陽気に誘われて、平年より1週間ほど早く開花するでしょう。南部では3月中に咲き始め、山沿い以外では桜の下での入学式になる見込みです。</p>
	<p>日本気象協会 北陸支店 (瀬山 滋)</p> <p>春本番の陽気が続き、つぼみも少し膨らんできました。この先も気温は平年より高く経過し、開花は前回の予想より早まり、3月の終わり頃になりそうです。この冬は周期的に強い寒気が流れ込み、同じタイミングで休眠打破したと考えられ、一斉にきれいな花が咲きそうです。</p>
	<p>日本気象協会 新潟支店 (今井 梢)</p> <p>ようやく春の暖かさがやってきた県内。3月中旬は桜の時期を通り越して4月下旬の暖かさとなる日もあり、桜のつぼみは一気に膨らんできそうです。また、その後も気温の高い日が多くなる見込みで、桜の開花は前回予想よりさらに早まるでしょう。</p>
	<p>日本気象協会 東北支社 (佐藤 理恵子)</p> <p>東北地方では、先週は寒暖差が大きく服装選びに迷う日が多くなりました。この先4月初めにかけては、暖かい空気の影響で気温は平年より大幅に高い日が多くなる予想です。花芽の生長も一気に加速して、東北地方では平年より開花が早まるところが多いでしょう。</p>
	<p>日本気象協会 北海道支社 (持田 浩)</p> <p>北海道はまだ広い範囲が雪に覆われていますが、先日降ったまとまった雨の影響で、太平洋側では積雪が無くなったところもあります。向こう一カ月も気温は平年より高く経過しそうです。桜の開花は前回の予想と大きな変化はなく、平年より3日前後早い開花となるとところが多いでしょう。</p>

日本気象協会では日本全国 89 地点の桜 (ソメイヨシノほか) の開花予想以外にも、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」(みはるたきざくら: ベニシダレザクラ)、山梨県の「山高神代桜」(やまたかじんだいさくら: エドヒガンザクラ)、岐阜県の「根尾谷淡墨桜」(ねおだにうすずみざくら: エドヒガンザクラ) の開花予想を「tenki.jp」にて公開しています。

【言葉の説明】

平年: 1981~2010 年の平均値

開花日: 標本木で 5~6 輪以上の花が咲いた状態となった最初の日 (気象庁の観測基準と同じ)

満開日: 標本木で 80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日 (気象庁の観測基準と同じ)

以上